



仁愛大学同窓会『世灯会』は今年で発足10周年。一度は最終回を迎えた誌上同窓会ですが、好評につき継続が決定!再始動となる今回は、仁愛大学の黎明期をともに歩んだ先生と生徒の“一期生コンビ”による思い出トークをお届けします。

笠原 大森先生と言えば、授業に遅刻してみんなの前で叱られたことが最大の思い出なんですよ(笑)

大森 だって常習犯だったじゃない(笑)

笠原 雰囲気は柔らかいのに、時々バツと厳しいことを言うから効くんですよ。でも、学部生ではめったに経験できない学会に関わらせてもらったり、よく面倒を見ていただいたと思います。

大森 1期生は頼る先輩もいないから大変な部分もあっただろうけど、その分歴代OBの中では一番しっかりしていましたね。笠原さんは「声を仕事にする」という夢、しっかり実現しています。

笠原 ありがとうございます!先生に教わったことは今の仕事でよく役立っているんです。相手の一挙一動を見て仕草や言葉から想いを感じ取る観察眼や、どうしてそうなるのか理由を考える意識とか、ゼミの実験がベースになっていることがたくさんあるんです。

大森 卒論のときは泣き出すこともあって苦勞したものね。私のゼミは実験をしないと卒論が書けなかったから、過酷な1年間だったでしょう?

笠原 やることが多くていっぱいいっぱいでした(笑)。みんな実験室に寝泊まりして合宿みたいな毎日だったけど、あの時間を仲間と共有できてよかったと思います。

大森 1期生の頃は今より学部も人数も少なかったから仲が良かったのは分かるけど、仁愛大学って卒業しても遊びに来るOBが多いのはどうして?

笠原 地元で頑張っているOBが多いせい

卒業しても気持ちの距離が近いんです。

笠原晶代さん
(旧姓:川中)

人間学部心理学科卒。憧れだった「話す仕事」を目指して転職。現在はブライダルプロデュース会社に勤務し、パーティの司会やTVレポーターとして活躍している。

05年卒
1期生

こんなにOBが遊びに来る大学も珍しいですね。

大森慈子さん

人間学部心理学科教授。開学時から仁愛大学で教鞭をとる名物講師のひとり。時に厳しい一面ものぞかせるが、穏やかに生徒を見守る姉のような存在でもある。

教員



OBとの交流や年賀状のやりとりなどでつながっているため、久しぶりの再会でも時差を感じないという二人

仁愛大学同窓会『世灯会』は10周年!

仁愛大学は2001年4月開学。そして1期生が卒業した2005年4月に、同窓会『世灯会』が誕生しました。

11期生が卒業する2015年は『世灯会』の10周年です。その時点の会員数は約2500人で、最年長の1期生は33歳。そう、『世灯会』はこれからの福井を担う若い世代の集まりなんです。私たち卒業生が繋がり合えば、何か新しい面白いコトがきっと生み出せるはずですよ。

秋には10周年記念イベントも予定しています。同窓生のみならず、ぜひ一緒に集みましょう。



『世灯会』ページに「いいね」を!

『世灯会』Facebookページをご覧ください! イベントや同窓生の今、そして現在の大学の情報などを日々更新しています。



www.facebook.com/jindai.dousokai



〒915-8586 福井県越前市大手町3-1-1

仁愛大学同窓会「世灯会」事務局

E-mail dosokai@jindai.ac.jp www.jindai-ainet.jp/